

おまえさん、  
片手の音が  
聞こえておるか



Hakuin Zenji

# 白隠禅師 シンポジウム

【東京会場】



日時 平成29年 2月18日 土 午後4時~6時

場所 日経ホール  
東京都千代田区大手町1-3-7 日経ビル

入場料 1000円

定員 600名

テーマ「白隠さんと私」

日本臨済宗の中興の祖とされ、五百年に一人の名僧と称される白隠禅師。一万点を超えるとも言われるユニークな禅画を描かれ、一般庶民への幅広い禅の普及につとめられただけでなく、弟子たちへ向けても漢文語録を多数残されています。その中の代表作である『荊叢毒藥(けいそうどくすい)』を、白隠研究の第一人者である芳澤勝弘氏に紐解いていただきます。また、江戸時代に初めて「健康」という語句を世に打ち出した白隠禅師の仮名法語である『夜船閑話』を、横田南嶺老師にご解説いただきます。最後はお二人に対談していただき、白隠禅師が伝えたかった禅への強い思いに迫ります。

講演者

横田南嶺老師  
(臨済宗円覚寺派管長)

芳澤勝弘氏  
(花園大学国際禅学研究所顧問)



平成29年、日本臨済宗中興の祖である白隠禅師250年遠諱記念に際し、その禅風をさぐり私たちの暮らしの中心にすえるべく、白隠禅師シンポジウムを東京・京都・名古屋・福岡の4会場で開催します。

日本文化のバックボーンをなしてきた日本の仏教は、いま「葬式仏教」と批判されそのあり方が厳しく問われています。21世紀において日本仏教のあるべき姿を考えた時、本来の仏教の教えである「いかに生きるべきか」を示すことが必要なのではないのでしょうか。

便利で人間中心的な現代で、私たちがどのように自然と共生した暮らしを築き、私たちがいかに生きてゆくべきかを問い直すことは喫緊の課題でありましょう。

このような現代の世相を鑑みれば、白隠禅師の遠諱は、宗門人や檀信徒のみではなく、広く人々に呼びかけることのできる稀有な好機と考えられます。「縁なき人には縁を結び、縁ある人はさらなる強い縁を結ぶ」遠諱が囑望されているのです。

ブッダが人々の「どう生きるべきか」の問いに対し普く法を示されたように、四弘誓願の教えのもとに、禅師の記念すべき遠諱の意義が広く一般の方々の心に響き、実際に役に立つことのできる報恩行事となるよう、白隠禅師の教えを通して私たちの足元を見直す機会としましょう。

平成28年11月10日  
白隠禅師シンポジウム実行委員会

Hakuin Zenji

【東京会場】テーマ「白隠さんと私」 講演者プロフィール

横田南嶺(よこたなんれい)老師

1964年和歌山県生まれ。1987年筑波大学卒業。建仁僧堂にて修行の後、1991年から円覚僧堂で修行。足立大進前管長に師事。2010年臨済宗円覚寺派管長に就任。主な著書に『祈りの延命十句観音経』、『青松閑話』、『いろはにほへど ある日の法話より』、『禅の名僧に学ぶ生き方の知恵』など。DVDに『精一杯生きよう』がある。

芳澤勝弘(よしざわかつひろ)氏

1945年生まれ。同志社大学卒業。財団法人禅文化研究所主幹を経て、2014年度まで花園大学国際禅学研究所教授。現在、同研究所客員研究所員(顧問)、駿河白隠塾塾長。主な著書に『白隠一禅画の世界』、『白隠禅師法語全集』全14巻、『白隠禅画墨蹟』全3巻、『白隠和尚 荊叢毒藥』乾・坤、『新編 白隠禅師年譜』など。

お申し込み方法

お申し込み受付開始：平成28年12月15日(木)

以下のサイトよりお申し込みください。  
[http://www.myoshin-zen-c.jp/mail\\_form/index.htm](http://www.myoshin-zen-c.jp/mail_form/index.htm)



東京禅センター 講座申込み 検索

電話の場合：東京禅センター  
TEL 03-5779-3800 (月～金 9:00～17:00)

定員に達し次第、締め切らせていただきます。入場料は当日、受付にてお支払いください。

日経ホールへのアクセス

〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7 日経ビル

■地下鉄

- 東京メトロ ◆ 千代田線「大手町駅」神田橋方面改札より徒歩約2分
  - ◆ 丸ノ内線「大手町駅」サンケイ前交差点方面改札より徒歩約5分
  - ◆ 半蔵門線「大手町駅」皇居方面改札より徒歩約5分
  - ◆ 東西線「大手町駅」中央改札より徒歩約9分
  - 都営地下鉄 ◆ 三田線「大手町駅」大手町方面改札より徒歩約6分
- 地下鉄「大手町駅」下車C2b出口直結



※ビル名称等は2015年9月1日現在の名称です。